

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスこはる		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日		2025/2/28
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2025/2/1		2025/2/28
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童及び保護者が地域の様々な方と交流できる機会がある。	当法人は、若い人からお年寄り、障がいのある人、障がいのない人など様々な人と交流ができるイベントや行事、スポーツ交流会等を企画・実施している。	小さい子供さんからお年寄りまで、障がいのある人、障がいのない人がより気軽に参加できるイベントや行事を考えて実施していくこと。
2	夏休など学校休業期間中の活動が充実している。	あらかじめ工夫した活動計画を作成し、その計画に沿って支援を行うことにより、児童及び職員が落ち着いて取り組むことができる。	従来の活動にとらわれず、新たなプログラムを組み込んでいく。
3	児童が作成した創作品を展示することで達成感・充実感を感じることができる機会をつくっている。	季節ごとあるいはクリスマスや年末年始、ハロウィンなどの行事ごとに創作活動を行っている。	地域の公共スペースで作品展示を行っているがこれに加えてその他にも出展する機会を設けていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	当事業所の児童は児童クラブや児童館との交流がない。	近隣の児童クラブと全く交流がない。	近隣の児童クラブとどのような形で接していけば良いか検討し、相手方に相談していくことから始める必要がある。またすぐに取り組まれている事業所があれば、情報を得ながら参考にしていきたい。
2	家族支援プログラム(ペアレントトレーニング)の取組ができていない。	家族支援プログラム(ペアレントトレーニング)に係る研修に参加した職員がいないこと、支援技術や知識がないことから、専門性をもって取り組むことはできていない。	まずは、家族支援プログラム(ペアレントトレーニング)に係る行政機関からの研修案内があれば参加していく必要がある。
3	父母の会の活動の支援、保護者会等を開催する等により保護者同士で交流する機会を設ける等の支援の取組が弱い。	イベント等で同席される等の機会はあるが、意図的、計画的に保護者会等の開催についての検討ができていない。	各保護者の意向や要望を把握しながら、必要に応じて実施していく必要がある。